

大人のための
歯科講座

「歯科治療の新潮流」

＝⑮＝

歯を失った部分に行きつけなかった後
ろのがインプラント治療に補綴をします。
療ですが、そのインプラントの使い方は歯を
2〜3本失った場合と、おられるような方には
14本すべて失った場合と、おられるような方には
では全く違います。補綴力月も義歯を入れたら
綴(人工歯を入れる)を、なければ食事には困ら
行う手順も違います。まず、審美的にも前
インプラントの表面、歯がないわけですから
性が進化しています。問題です。
が、骨とがっちりくっつくには、通常2〜3
プラントを埋入した部

一つの方法ですが、手術当日に力加わること
手術をしたその日のうちに固定式の補綴物を
装着します。即時に力を想像してもらえば分
かりやすいでしょう。ギプスにあたるのが補
綴物で、治癒するまで
固定されています。必要がありま
す。これがクリ
アされれば即時
荷重は成功し、
総入れ歯から固
定性の歯が即日

歯をすべて失った方への治療法

手術当日に荷重が可能
ワンデイインプラント

分の上には、手術をした部分に義歯が
本的に義歯は、当たと最初の1〜2
のせられませ。週は特に苦痛を伴いま
ん。2〜3本。傷口に常に異物が
失った方の場合、当たっている状態です
合、奥歯であるから当然です。そこで、
れば、3カ月手術をした当日に補綴
程度歯がなく、物をインプラントに直
てもそれほど、接ネジで固定して、機
食生活や審美的にも、審美的にも回
に支障はない、復させる即時荷重(そ
ので、インプラントが骨と方法が行われ
てもインプラントをが



①下顎無歯顎の方に4本埋入直後の状態



②①の状態に義歯を入れるのはかなりの苦痛を伴う



③インプラント固定式の補綴物を即日に入れる。厚みを持たせ強度を重視した形体になっているが、②の義歯よりすっきりして、粘膜に当たって痛いということはない

ルーセントデンタル
クリニック院長

後藤 英夫



＜略歴＞ 19

98年、東京医科歯科大学歯学部卒業。名古屋大学医学部遺伝子再生医療センター医員、国立長寿医療センター歯科口腔外科勤務などを経て、2008年からルーセントデンタルクリニック副院長。2011年から院長。